

青島周辺の奇岩群（「鬼の洗濯板」）

青島を取り囲むように海に向かって広がっている奇岩群は、地元では「鬼の（もしくは悪魔の）洗濯板」と呼ばれています。遠くから見ると大きな洗濯板のように見えると考えられているからです。この奇岩群は、2,400 万年前から 200 万年前にかけて海底に砂と泥が交互に蓄積したことで生まれました。層状になった岩盤が地殻の変動や隆起で少し傾いた状態で陸地になりました。この岩盤が波に洗われるうちに、柔らかい泥岩の層がより硬い砂岩の層より速く侵食され、岩盤に筋が生まれました。この奇岩群は、青島から南に向かって戸崎鼻岬を通り過ぎて巾着島まで、8 キロメートルにわたって宮崎の海岸で見ることができます。青島の「鬼の洗濯板」は日本の天然記念物に指定されています。